



施設の仲間からのお祝いに喜ぶミウラさん

市は、1月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

高橋ミウラさんⅡ胆沢区若柳字相馬檀Ⅱは福島県に生まれ、24歳のとき故・武雄さんと結婚。4男3女をもうけ、孫14人、ひ孫9人に恵まれました。武雄さんと共に、茨城県の日立製作所で終戦まで働き、武雄さんの出身地である同区小山に移り住んでから、農業を営み生計を立ててきました。

祝 百歳おめでとう

現在は、特別養護老人ホームやなぎの里に入所。肌のケアを毎日欠かさず、定期的に美容院に通うなどおしゃれを楽しんでいます。誕生会では、祝福のお礼に十八番の「王将」を元気に歌いました。

小野寺永助さんⅡ胆沢区小山字前嘉藤Ⅱは同区に生まれ、24歳で故・ヒラさんと結婚。夫婦二人三脚で農業を営みながら、娘のさだ子さんを育て上げました。現在は孫2人、ひ孫5人に恵まれています。

手先が器用で、ムシロやコモなど、なんでもきれいに仕上げていたという永助さん。85歳ころまで元気に草取りなどをしていた、80歳の時には、孫の前で逆上がりをして見せたこともあるそうです。

現在入院中のため、写真を撮影することはできませんでしたが、記念品を受け取った家族は、永助さんの長寿を心から喜んでいました。



家族と共に花やプレゼントに囲まれるマツさん

菊池マツさんⅡ江刺区米里字木細工Ⅱは同区に生まれ、昭和10年に故・長二さんと結婚。2男3女をもうけ、孫10人に恵まれました。7人きょうだいの長女として若いころから家事をこなし、弟や妹の面倒を見てきたマツさん。

「穏やかで、とても優しい自慢の姉です」と妹の佐藤ヒロエさん(86)は語ります。

歌や踊りが大好きで、慰問行事などには欠かさず参加しているというマツさん。お祝いの会では、特別養護老人ホームあつぷるホームのスタッフと入居者が水戸黄門の主題歌「ああ人生に涙あり」を合唱し、百歳のお祝いに花を添えました。

要介護認定等訪問調査員 介護予防支援員 を募集します

市は、4月1日に採用予定の要介護認定等訪問調査員、介護予防支援員を募集します。

要介護認定等訪問調査員は、介護保険法における要介護等認定申請に際し、当該被保険者と面接して心身の状況や環境などについて調査。介護予防支援員は、介護または支援を必要とする高齢者などに総合的な相談や指導を行います。

希望する人は、職務内容や応募資格などを確認し、申し込みしてください。

●要介護認定等訪問調査員

■職務内容 要介護認定申請に係る対象者の面接調査および記録など

■募集人数 2人程度

■応募資格 次の全てを満たす人

①保健師、介護支援専門員、看護師、社会福祉士もしくは社会福祉主事の資格・免許を持つ、または市町村などで要介護認定等訪問調査員として5年以上の実務経験がある

②介護や福祉に深い関心を持ち、指導力がある

③第1種普通自動車運転免許を持っている

※看護師は経験者、社会福祉主事は高齢者保健福祉に関する相談業務などを3年以上経験した人に限る

■勤務場所 本庁長寿社会課、江刺総合支所健康福祉課

■報酬 特別職職員の報酬支給規則に定める額(26年4月1日現在、月額186,500円)

■問い合わせ・申込先 本庁長寿社会課介護認定係(内線263)、各総合支所健康福祉課

●介護予防支援員

■職務内容 在宅での介護または支援に関する総合的な相談・指導・実態把握および各種保健・福祉サービスの利用に関する連絡調整など

■募集人数 1人程度

■応募資格 次の全てを満たす人

①保健師、介護支援専門員、社会福祉士、看護師もし

くは社会福祉主事の資格・免許を持っている

②介護や福祉に深い関心を持ち、指導力がある

③第1種普通自動車運転免許を持っている

※看護師は経験者、社会福祉主事は高齢者保健福祉に関する相談業務など3年以上経験した人に限る

■勤務場所 地域包括支援センターサテライト(メイプル地下)

■報酬 特別職職員の報酬支給規則に定める額(26年4月1日現在、月額201,500円)

■問い合わせ・申込先 市地域包括支援センター(内線269)

【共通事項】

■身分・任期 非常勤特別職の職員として2年以内(再任用の場合あり)

■勤務日数・時間 週5日で計28時間45分

■選考方法 3月1日(日)の午前9時半から、市役所2階203会議室で作文および面接による試験を実施

■申し込み方法 申込先に備え付けの受験申込書に必要事項を記入し、写真(上半身、正面向き、無帽、無背景で3カ月以内に撮影したもの)を貼り付け、各資格証・免許証および自動車運転免許証の写しを添付の上、直接提出(国・県を除く、郵送による申し込みは不可)

※受験票は申し込み受け付けの際に交付

■申込期限 2月25日(日)

姉妹都市

掛川だより

英国で最高峰のお墨付き

掛川市ステンドグラス美術館6月開館予定

掛川城公園内に、ことし6月オープン予定の「ステンドグラス美術館」。そこに展示される作品の海外調査報告会を1月12日、掛川市役所で開催しました。

同美術館は、掛川市内在住で国内有数のコレクターである鈴木政昭さんが約半世紀掛けて集めた作品約70点と、現在建設中の建物の寄贈を受けて開館する予定。報告会では、現地で調査に当たったステンドグラス作家で研究家の志田政人さんが「最高峰の作品で学術的にも貴重なものと英国研究者から評価された」と述べました。展示作品は19世紀の英国のものが中心で、制作工房、寄贈者、設置された教会など歴史的背景も調査によって判明。志田さんは「この作品群を日本、それも掛川で見られることを誇りに感じてほしい」と強く訴えました。



美術館へ展示する作品に自然光を当てて説明する志田さん



表敬訪問で市役所を訪れた際に親方と固く握手を交わす陸君(右)

佐々木陸君伊勢ノ海部屋入門
関取目指し角界へ

水沢南中学校3年の佐々木陸君(15)が、大相撲伊勢ノ海部屋に入門します。陸君は177センチで90キロ。2歳のころから相撲のテレビ中継に夢中で、物心ついたころから力士になることを夢見ていました。小学4年生の時には、わんぱく相撲の県大会で準優勝。中学校では、バレーボール部に所属しながら相撲の稽古に励み、昨年12月、関係者の誘いで伊勢ノ海部屋を見学し、入門を決意しました。

「関取を目指して頑張る」と気合十分の陸君。3月に大阪で行われる春場所ので初土俵を踏む予定です。